

第3回 江府町学校運営協議会 議事録

■期 日:令和4年10月21日(金)
 ■時 間:19:00~20:40
 ■場 所:日野川校舎 被服室

<会議出席者>

【委員】井上裕吉副会長、小椋委員、藤原委員、船越委員、加藤健一委員、井上廉女委員、
 景山委員(欠席:宮本会長、加藤千恵子委員、篠田委員、遠藤委員、高津委員)
 【事務局】谷田課長、森田副校長、山本教頭、竹田 CSD

1 開会
 副会長挨拶

2 報告
 ・活動報告

【地域活性化部】 荒田川オオサンショウウオ観察会 8月27日(土)実施
 【学習・行事支援部】 奥大山大根クラブ 9月中旬~実施中
 裏山整備 10月9日(日)実施

3 協議
 ・今年度の活動について
 ・来年度の活動、予算について

※部会協議(40分程度)
 ○学習・行事支援部(景山校長)
 ○地域活性化部(小椋部長)
 ○健全育成部(加藤健一部長)

全体協議

<p>学 習 ・ 行 事 支 援 部</p>	<p>来年度も今年度同様の活動内容で実施予定。奥大山大根クラブについて。予算として必要なのはタネ、肥料、マルチ、マルチ穴あけの道具、ふるい、大根持ち帰り用の袋など。学校予算で購入するものもおそらくあるので全てではないが、そういう案が出た。また、学校農園への行き来がしやすいように草が生えにくいシートなど、農園へ行きたくなるような仕組みづくりも考えたい。 裏山整備について。校庭に現在少しある丸太橋が老朽化しているの、整備をしてはどうかと思っている。丸太やタイヤ、重機のレンタル料を予算化しておき、重機の操作は保護者ボランティアを募る。出来れば東屋を造るとか、児童数に対して校庭が広いので、フィールドアスレチックパークとして大きく使うのも面白いと考えている。 掛け算九九の聞き取り、古文暗唱の聞き取りを引き続きする。何か地域の方と一緒に学習する機会をもてたらと思っている。今年度の掛け算九九の聞き取りは11月第4週くらいに予定している。</p>
<p>健 全 育 成 部</p>	<p>教育委員会から、11月13日(日)にあやめ館のリニューアルオープンイベントのボランティアについて協力要請があった。児童生徒や保護者にあやめの苗植えをしてもらいたいとのこと。当日の移動手段など、工夫が必要だと思うが、学校運営協議会として協力したいと思う。 ながら見守り活動について。来年度も今年度同様、強化期間を年3回程設ける。来年度は期間を1週間にして、「あいさつロード」というものをしてみたいと思う。ブナの森校舎は校舎から小江尾の踏切付近まで、日野川校舎は校舎から夜振橋付近までを「あいさつロード」とし、強化期間中に来られる方はそこに来ていただく。その際にのぼりを持って立っていただく為に、のぼりの購入をしたいと思う。持って立つ分の他に施設にも立ててもらいたい。現時点での候補施設は日野川校舎、ブナの森校舎、子どもの国保育園、防災情報センター、郵便局の5ヶ所。のぼりは全部で35本を考えている。金額としては、1本 1,500 円と仮定して 52,500 円。 児童生徒ボランティアについて。こいのぼりボランティアは今年度同様に実施したい。その他についてはこれから検討する。</p>

地域活性化部	来年度は草花観察を実施したい。講師は藤原文子先生、募集人員は20名程度。バスで送迎をするので、子どもだけの参加とする。場所は鏡ヶ成周辺。今回の荒田川イベントで「時間が短かった」という意見もあったので、一日の予定とする。弁当持参。予算についてはバス代として5万円程。講師謝金として1、2万。雑費として2万、合計9万円程で考えている。
谷田課長	教育委員会主催で今年から全3回でぶらチロルという町内バスツアーを企画している。11月14日(月)の振替休業日に、1~9年生、40名を募集する。8時半に防災情報センターへ集合し、解散は16時半。今回は俣野編ということで俣野川発電所、サージタンク、三平山登山とまわる。講師は日野振興センターの藤原文子先生。雨天の場合は三平山登山ではなく、ミターラキャンプ場周辺の草花観察やオリエンテーリングなどを考えている。または、七色カシについて学ぶのも良いかと考えている。 地域活性化部の皆様には、場所の候補地など相談にのってもらった。学校運営協議会に共催としてご協力をお願いし、先ほど承諾いただいたので、ぜひ参加をお願いしたい。

4 その他

副会長	前回の会で伝えていた町長との話し合いについて報告する。9月6日に町長と会長、副会長、各部長、事務局のメンバーで開催した。町長からの話は、江府町について夢を語って欲しい、そのアイデア募集をしたいという話であった。QRコードなどを利用して、属性を明らかにし、匿名で回答が出来るアンケート方式で、ということ。こちらからは、アンケートの主旨や目的を示した上で、アンケート結果やそれに対する回答をしっかりと公表した方が良いと伝えた。
景山校長	補足になるが、PTAからの要望よりも、より生の声を聞きたいということ。それなら直接回答出来るものが良いので、インターネットを使って回答という話になった。いずれにしても、この先は町が進めていく話だと思うので、学校運営協議会の方で何かするということはないと思われる。
副会長	話し合い後の進捗状況について情報が無いので、これ以上の報告はなく、途中経過として報告する。 次回の学校運営協議会については、11月第4週頃に予定し、予算についてさらに詳細をつめることとする。

5 閉会